

## 新学習指導要領と学習評価について

小学校では昨年度、中学校では今年度より「新学習指導要領」の完全実施となりました。今までにも何度か保護者向けのパンフレットが配付され、ご理解いただいていることも多いとは思いますが、改めていくつかのポイントをお伝えいたします。



### 学習指導要領とは？

全国どこの学校でも一定の教育水準が保てる様に、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。およそ10年に1度改訂され、これをもとにして、教科書や時間割が作られます。

### 何ができるようになるか？ どんな力を伸ばすのか？

これからの新しい時代に必要となる資質・能力（3つの柱）

実際の社会や生活で生きて働く

**知識 及び 技能**

未知の状況にも対応できる

**思考力、判断力、表現力など**

学んだことを人生や社会に生かそうとする

**学びに向かう力、人間性など**

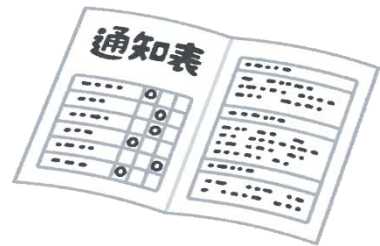
これからは「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」も重視されます。

上の3つの力を伸ばしていくためには、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善が求められています。

今まで通り、「わかること」や「できること」も大事な力ですが、その知識・技能を使って、自分の課題を解決するためにどのように取り組んでいくのか、そこが思考力、判断力、表現力などが重視されるところであり、そうした授業改善が必要となっています。

## 評価の観点が変わります！

改訂では「これからの新しい時代に必要となる資質・能力」として、3つの観点が示されました。今までは、下記の4つの観点でした。



関心・意欲・態度	思考・判断：表現	技能	知識理解
----------	----------	----	------



<b>知識・技能</b>	<b>思考・判断・表現</b>	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
各教科等における知識及び技能の習得状況について評価するとともに、既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価します。	各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。

学習の観点別評価については、通知票において3段階（◎○△）で記載されてきました。それは変わりません。そして、いくつかの観点を総合的にみて、評定（1・2・3・4・5）をつけてきたことも変わりません。変わるのは、今まで4つの観点であったものが、3つの観点となることです。今後、各教科等に観点の内容がわかりやすくなるように、通知票を工夫していく予定です。

### ご家庭でもぜひお子さんに働きかけてみてください。（文科省の資料より）

保護者の皆さまの働きかけが、子供たちの「生きる力」を育む大きな原動力になります。

保護者の働きかけがある 子供の学力は高いという傾向があります

- 学校や友達のこと、地域や社会の出来事など家庭での会話が深い。
- テレビ・ビデオ・DVDを見る時間などのルールを決めている。
- テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンでのゲーム等を含む）をする時間を限定している。
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている。
- 子供に最後までやり抜くことの大切さを伝えている。
- 自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
- 地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人間になることを重視している。